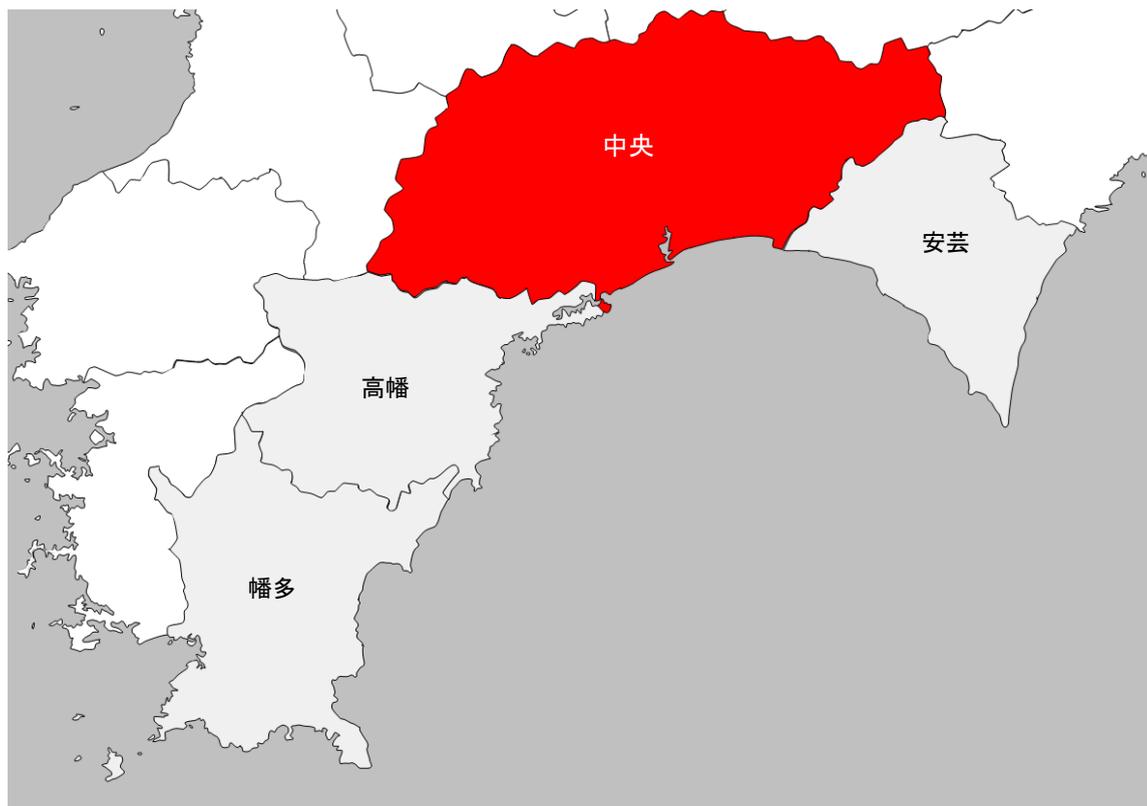


# 39. 高知県

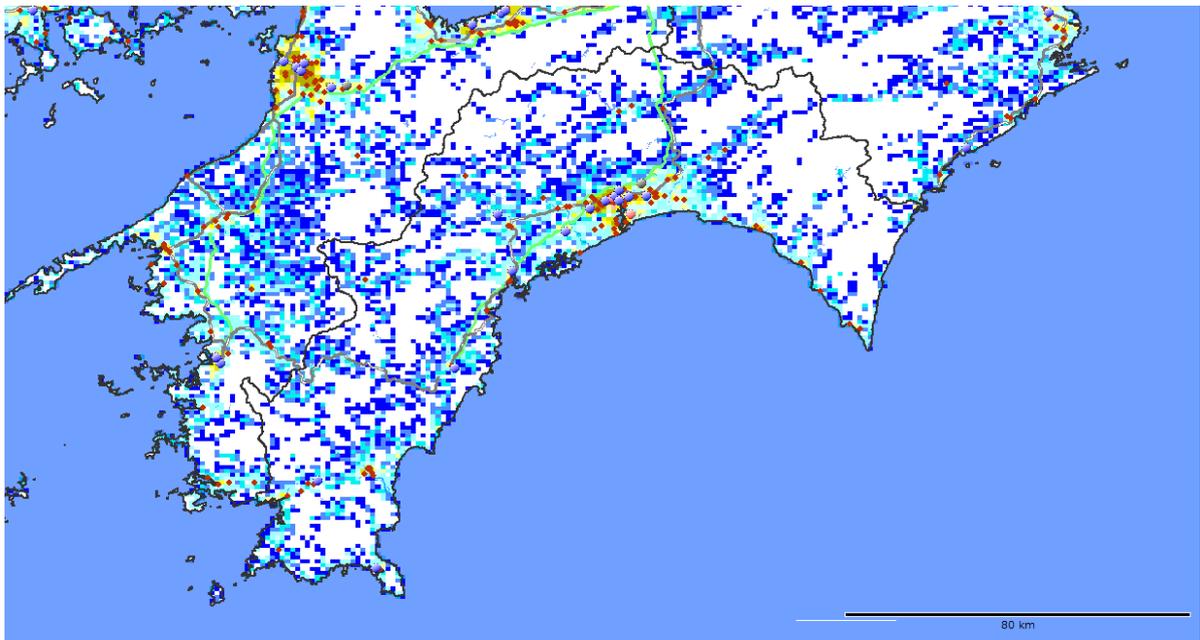


目次

高知県	39	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	39	-	8
1. 安芸医療圏	39	-	20
2. 中央医療圏	39	-	25
3. 高幡医療圏	39	-	30
4. 幡多医療圏	39	-	35

# 39. 高知県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

## （高知県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 高知県は、総人口約730千人(2015年推計)、面積7105km<sup>2</sup>、人口密度は103人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 高知県の総人口は2025年に655千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に537千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の127千人が、2025年にかけて149千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には138千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 高知県の一人当たり医療費(国保)は372千円(偏差値63)、介護給付費は273千円(偏差値55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 高知県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.49、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は3.7で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が56(病院医師数61、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数は多いが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は57と多い。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は81と療養病床数は非常に多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値84と非常に多く、回復期病床数は偏差値70と非常に多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 高知県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、13135人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が8281床(偏差値54)、高齢者住宅等が4854床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、11025人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設80、有料老人ホーム43、軽費ホーム75、グループホーム63、サ高住41である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1419人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

高知県の総人口は、2005年796292人が、2015年に729679人と8%減少し、2025年の人口が654741人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

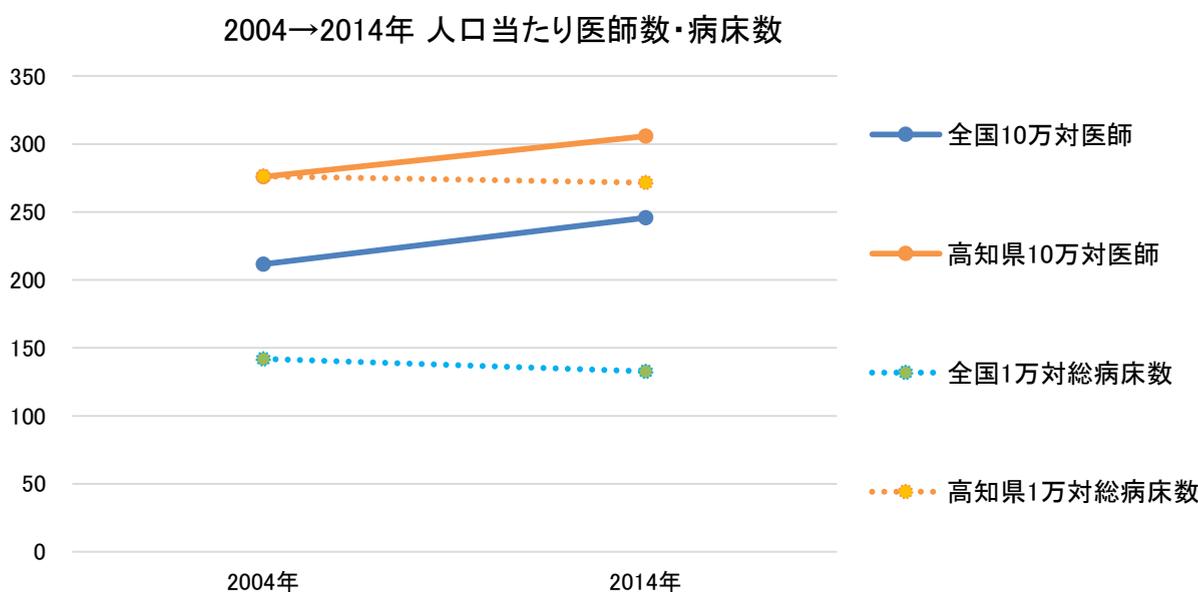
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が142(人口10万人当たり17.8病院(全国平均7.1)偏差値78)であったが、2014年に130(人口10万人当たり17.8病院(全国平均6.7)偏差値77)となり、10年間で12病院が減少した。

2004年の診療所数が602(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に569(人口10万人当たり78診療所(全国平均79)偏差値49)と、33診療所が減少した。

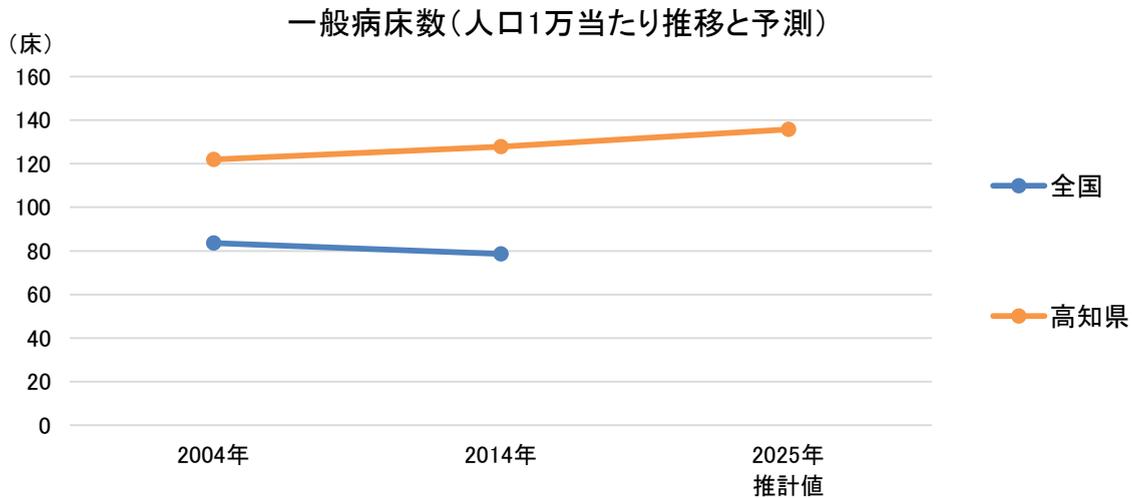
2004年の総病床数が21999床(人口1万人当たり276(全国平均142)偏差値74)であったが、2014年に19815床(人口1万人当たり272(全国平均133)偏差値75)と、2184床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が2197人(人口10万人当たり276人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2014年に2232人(人口10万人当たり306人(全国平均246人)偏差値56)と、35人の増加、率にして2%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



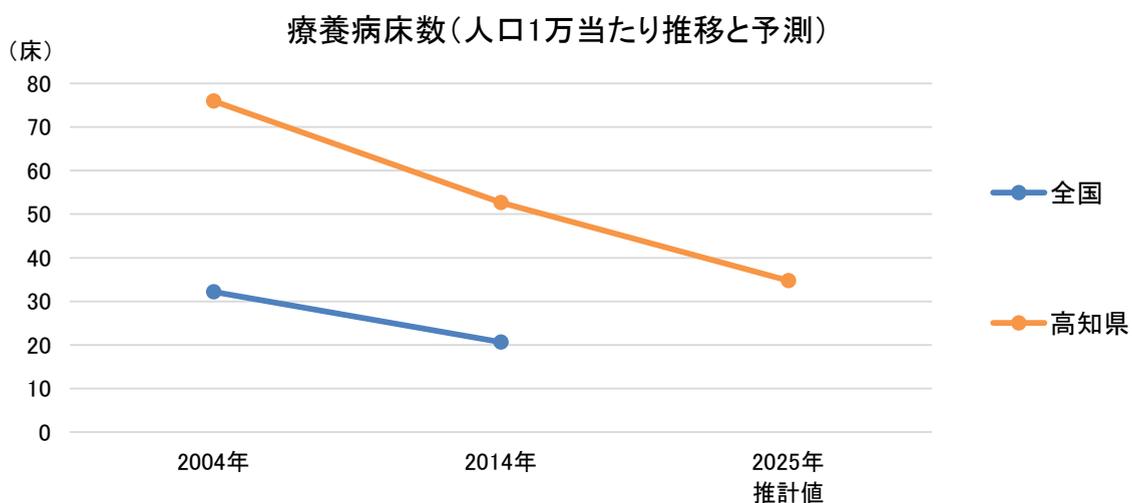
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9715床(人口1万人当たり122(全国平均84)偏差値64)であったが、2014年に9323床(人口1万人当たり128(全国平均79)偏差値68)と、392床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には8892床(2025年の推計人口1万人当たり136)になることが予想される。



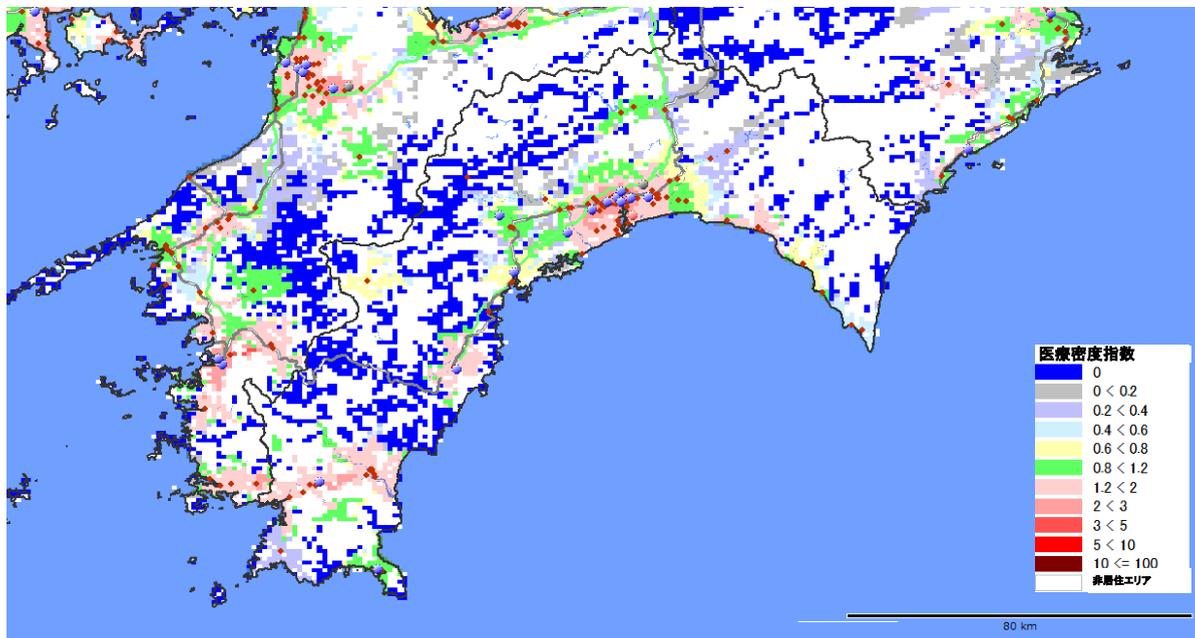
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が8080床(75歳以上1000人当たり76(全国平均32)偏差値75)であったが、2014年に6698床(75歳以上1000人当たり53(全国平均21)偏差値78)と、1382床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5178床(2025年の推計75歳以上1000人当たり35)になることが予想される。

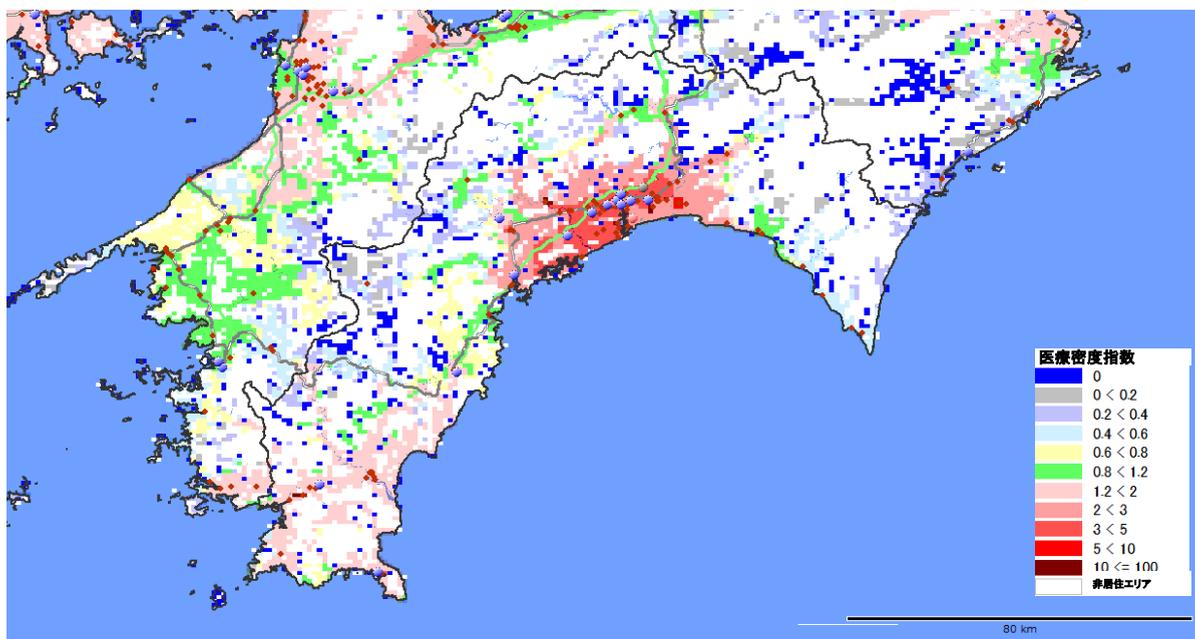


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表39-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-2 慢性期医療密度指数マップ



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 39-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
高知県	730	45位	7,105	18位	102.7		33%	655	537	127	149	138	-10%	-18%	17%	-7%
安芸	49	7%	1,129	16%	43.4	過疎地域型	40%	41	30	11	11	9	-16%	-27%	0%	-18%
中央	536	73%	3,009	42%	178.2	地方都市型	31%	492	415	85	104	99	-8%	-16%	22%	-5%
高幡	57	8%	1,405	20%	40.4	過疎地域型	40%	48	36	13	14	12	-16%	-25%	8%	-14%
幡多	88	12%	1,562	22%	56.1	過疎地域型	38%	75	56	18	20	18	-15%	-25%	11%	-10%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資\_図表 39-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
高知県	1.49	3.70	1.3%	8.6%
安芸	0.82	4.00	1.9%	22.9%
中央	1.72	3.24	-7.4%	-2.8%
高幡	0.53	3.44	2.5%	16.6%
幡多	1.13	1.39	13.1%	23.1%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			

資\_図表 39-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
高知県	372	63	1.164	273	55
安芸	411	72	1.228	289	60
中央	378	64	1.141	269	54
高幡	352	58	1.046	285	58
幡多	334	54	0.996	274	55
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 39-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
高知県	130	1.5%	17.8	77	569	0.6%	78	49
安芸	7	5%	14.3	68	41	7%	84	52
中央	96	74%	17.9	77	422	74%	79	50
高幡	8	6%	14.1	68	41	7%	72	46
幡多	19	15%	21.7	86	65	11%	74	47
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 39-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
高知県	569	0.6%	78	49	477	0.5%	65	46	92	1.1%	12.6	59
安芸	41	7%	84	52	36	8%	74	50	5	5%	10.2	55
中央	422	74%	79	50	349	73%	65	46	73	79%	13.6	61
高幡	41	7%	72	46	38	8%	67	47	3	3%	5.3	48
幡多	65	11%	74	47	54	11%	62	44	11	12%	12.5	59
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

39. 高知県 (2016年版)

資\_図表 39-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
高知県	18,320	1.2%	2,511	75	1,495	1.3%	205	61	19,815	1.2%	2,716	75
安芸	941	5%	1,922	64	51	3%	104	51	992	5%	2,027	62
中央	14,470	79%	2,698	79	1,227	82%	229	63	15,697	79%	2,927	78
高幡	986	5%	1,738	60	57	4%	100	51	1,043	5%	1,838	59
幡多	1,923	10%	2,193	69	160	11%	182	59	2,083	11%	2,375	69
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 39-7 病院病床数 (一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
高知県	7,857	0.9%	1,077	66	6,669	2.0%	914	81	3,676	1.1%	504	61
安芸	349	4%	713	50	176	3%	360	55	411	11%	840	76
中央	6,327	81%	1,180	71	5,363	80%	1,000	85	2,698	73%	503	61
高幡	326	4%	574	44	442	7%	779	75	218	6%	384	55
幡多	855	11%	975	62	688	10%	785	75	349	9%	398	56
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 39-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
高知県	1,089	1.5%	149	70	676	1.9%	93	62
安芸	44	4%	90	57	45	7%	92	62
中央	875	80%	163	73	428	63%	80	59
高幡	88	8%	155	71	74	11%	130	70
幡多	82	8%	94	58	129	19%	147	74
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資\_図表 39-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24)	9.1%	(23)
高知県	3,915	3,446	187	12,481	4,294	4,710	44.5%	47	3.8%	48
安芸	270	175	0	635	174	140	50.1%	49	0.0%	46
中央	3,087	2,744	187	9,845	3,499	3,757	44.0%	47	4.7%	48
高幡	30	30	0	834	296	320	9.2%	32	0.0%	46
幡多	528	497	0	1,167	325	493	60.5%	53	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 39-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
高知県	21,336	0.8%	2,924	57	6,000	0.6%	822	51
安芸	384	2%	784	36	48	1%	98	25
中央	19,056	89%	3,553	62	5,172	86%	964	55
高幡	408	2%	719	36	0	0%	0	22
幡多	1,488	7%	1,697	45	780	13%	889	53
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 39-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
高知県	2,338	0.7%	320	56	1,733	0.8%	237	61	606	0.5%	83	44
安芸	115	5%	236	46	66	4%	136	45	49	8%	100	49
中央	1,906	82%	355	59	1,433	83%	267	65	473	78%	88	45
高幡	106	5%	187	41	71	4%	125	44	35	6%	62	37
幡多	211	9%	241	47	162	9%	185	53	49	8%	56	35
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

39. 高知県 (2016年版)

資\_図表 39-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
高知県	143	0.9%	19.6	61	74	0.6%	10.1	51	53	0.5%	7.3	47
安芸	5	3%	10.2	47	4	5%	8.2	46	1	2%	2.0	34
中央	129	90%	24.1	67	59	80%	11.0	52	48	91%	9.0	52
高幡	2	1%	3.5	37	2	3%	3.5	36	0	0%	0	28
幡多	7	5%	8.0	44	9	12%	10.3	51	4	8%	4.6	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 39-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
高知県	40	0.8%	5.5	56	54	0.6%	7.4	50	45	0.6%	6.2	51
安芸	2	5%	4.1	50	3	6%	6.1	46	3	7%	6.1	51
中央	36	90%	6.7	62	47	87%	8.8	54	39	87%	7.3	55
高幡	0	0%	0	30	2	4%	3.5	38	0	0%	0	27
幡多	2	5%	2.3	41	2	4%	2.3	34	3	7%	3.4	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 39-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
高知県	73	0.9%	10.0	60	135	0.7%	18.5	53	129	0.8%	17.7	62
安芸	7	10%	14.3	72	6	4%	12.3	45	7	5%	14.3	55
中央	55	75%	10.3	61	114	84%	21.3	57	104	81%	19.4	66
高幡	3	4%	5.3	46	9	7%	15.9	50	8	6%	14.1	54
幡多	8	11%	9.1	57	6	4%	6.8	37	10	8%	11.4	48
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 39-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
高知県	56	1.0%	7.7	65	52	0.8%	7.1	59	40	0.8%	5.5	54
安芸	2	4%	4.1	48	4	8%	8.2	63	1	3%	2.0	43
中央	47	84%	8.8	71	40	77%	7.5	60	36	90%	6.7	59
高幡	3	5%	5.3	54	2	4%	3.5	44	1	3%	1.8	42
幡多	4	7%	4.6	50	6	12%	6.8	58	2	5%	2.3	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 39-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
高知県	46	0.7%	6.3	54	9	0.6%	1.2	50	30	0.9%	4.1	59
安芸	0	0%	0	33	0	0%	0	37	2	7%	4.1	59
中央	42	91%	7.8	59	8	89%	1.5	53	27	90%	5.0	64
高幡	2	4%	3.5	45	0	0%	0	37	0	0%	0	35
幡多	2	4%	2.3	41	1	11%	1.1	49	1	3%	1.1	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 39-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
高知県	14	0.7%	1.9	53	31	1.3%	4.2	68
安芸	0	0%	0	37	2	6%	4.1	67
中央	14	100%	2.6	59	26	84%	4.8	73
高幡	0	0%	0	37	3	10%	5.3	76
幡多	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

39. 高知県 (2016年版)

資\_図表 39-18 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
高知県	10,822	1.0%	1,483	71	9,463	1.0%	1,297	74	1,359	0.7%	186	54
安芸	555	5%	1,135	59	457	5%	933	59	99	7%	201	56
中央	8,660	80%	1,615	76	7,611	80%	1,419	79	1,049	77%	196	55
高幡	524	5%	924	52	445	5%	784	53	79	6%	140	48
幡多	1,082	10%	1,233	63	950	10%	1,083	65	132	10%	150	49
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 39-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
高知県	1,973	1.7%	270	84	1,669	0.6%	229	50
安芸	109	6%	223	75	89	5%	182	45
中央	1,589	81%	296	89	1,368	82%	255	53
高幡	115	6%	203	71	78	5%	137	41
幡多	160	8%	183	67	134	8%	153	42
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 39-20 在宅医療施設数 (在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
高知県	42	0.3%	0.3	38	16	1.4%	0.1	59	56	0.6%	0.4	42
安芸	5	12%	0.5	41	1	6%	0.1	54	5	9%	0.5	44
中央	32	76%	0.4	39	11	69%	0.1	60	41	73%	0.5	45
高幡	1	2%	0.1	32	2	13%	0.2	63	3	5%	0.2	31
幡多	4	10%	0.2	35	2	13%	0.1	56	7	13%	0.4	39
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資\_図表 39-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
高知県	13,135	0.8%	103	52	8,281	0.8%	65	54	4,854	0.7%	38	49
安芸	960	7%	90	44	666	8%	62	52	294	6%	28	42
中央	8,834	67%	104	53	5,340	64%	63	52	3,494	72%	41	51
高幡	1,212	9%	91	45	870	11%	66	55	342	7%	26	41
幡多	2,129	16%	116	60	1,405	17%	77	63	724	15%	40	50
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 39-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
高知県	2,219	0.6%	17	42	3,964	0.7%	31	47	2,098	3.1%	16.5	80
安芸	220	10%	21	48	410	10%	38	55	36	2%	3.4	48
中央	1,333	60%	16	39	2,307	58%	27	43	1,700	81%	20.0	88
高幡	192	9%	14	37	538	14%	41	57	140	7%	10.6	66
幡多	474	21%	26	57	709	18%	39	55	222	11%	12.1	69
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 39-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
高知県	782	0.4%	6.1	43	837	3.7%	6.6	75	2,372	1.2%	18.7	63
安芸	34	4%	3.2	40	70	8%	6.6	75	162	7%	15.2	56
中央	578	74%	6.8	43	519	62%	6.1	73	1,634	69%	19.2	64
高幡	0	0%	0	37	70	8%	5.3	69	234	10%	17.7	61
幡多	170	22%	9.3	46	178	21%	9.7	90	342	14%	18.7	63
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

39. 高知県 (2016年版)

資\_図表 39-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)				サ高住 (非特定 施設)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
高知県	863	0.4%	6.8	41	0	0.0%	0	45	863	0.4%	6.8	42
安芸	28	3%	2.6	35	0		0	45	28	3%	2.6	35
中央	763	88%	9.0	44	0		0	45	763	88%	9.0	45
高幡	38	4%	2.9	35	0		0	45	38	4%	2.9	35
幡多	34	4%	1.9	34	0		0	45	34	4%	1.9	34
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 39-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
高知県	1,797	1.1%	14.1	69	1,574	1.3%	12.4	74	223	0.5%	1.8	40
安芸	87	5%	8.1	43	70	4%	6.6	47	17	7%	1.5	38
中央	1,231	69%	14.5	70	1,062	67%	12.5	74	169	76%	2.0	43
高幡	142	8%	10.7	54	128	8%	9.7	61	14	6%	1.0	32
幡多	337	19%	18.4	87	313	20%	17.1	96	24	11%	1.3	35
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 39-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)				介護職員 数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
高知県	12,444	0.8%	98	56	11,025	0.9%	87	59	1,419	0.6%	11.2	46
安芸	1,074	9%	101	59	950	9%	89	61	124	9%	11.7	47
中央	8,200	66%	97	55	7,242	66%	85	58	958	68%	11.3	46
高幡	1,184	10%	89	49	1,076	10%	81	54	108	8%	8.1	40
幡多	1,986	16%	108	65	1,757	16%	96	67	229	16%	12.5	48
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 39-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
高知県	6,548	0.6%	51	46	1,574	0.4%	12	38	10,186	0.7%	80	47
安芸	570	9%	53	46	135	9%	13	38	870	9%	82	47
中央	4,803	73%	57	47	1,178	75%	14	40	7,382	72%	87	49
高幡	410	6%	31	39	89	6%	7	33	774	8%	58	40
幡多	765	12%	42	42	172	11%	9	35	1,160	11%	63	41
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 39-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
高知県		796,292	729,679	-8%	654,741	-18%	3%	-2%	1%
安芸	過疎地域型	58,340	48,949	-16%	40,549	-30%	-4%	-10%	-13%
中央	地方都市型	570,302	536,285	-6%	491,685	-14%	6%	0%	6%
高幡	過疎地域型	66,373	56,747	-15%	47,794	-28%	-2%	-8%	-10%
幡多	過疎地域型	101,277	87,698	-13%	74,713	-26%	-1%	-5%	-6%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資\_図表 39-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
高知県	142	17.8	78	130	17.8	77	-12	-8%	117
安芸	8	13.7	67	7	14.3	68	-1	-13%	6
中央	106	18.6	80	96	17.9	77	-10	-9%	85
高幡	8	12.1	63	8	14.1	68	0	0%	8
幡多	20	19.7	83	19	21.7	86	-1	-5%	18
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

39. 高知県 (2016年版)

資\_図表 39-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
高知県	602	76	50	569	78	49	-33	-5%	533
安芸	41	70	47	41	84	52	0	0%	41
中央	437	77	50	422	79	50	-15	-3%	406
高幡	51	77	50	41	72	46	-10	-20%	30
幡多	73	72	48	65	74	47	-8	-11%	56
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 39-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
高知県	2,197	276	58	2,232	306	56	35	2%	2,270
安芸	109	187	47	92	188	44	-17	-16%	73
中央	1,771	311	62	1,872	349	61	101	6%	1,983
高幡	107	161	44	85	150	40	-22	-21%	61
幡多	210	207	49	183	209	46	-27	-13%	153
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 39-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
高知県	21,999	276	74	19,815	272	75	-2,184	-10%	17,413
安芸	1,255	215	63	992	203	62	-263	-21%	703
中央	17,195	302	79	15,697	293	78	-1,498	-9%	14,049
高幡	1,164	175	56	1,043	184	59	-121	-10%	910
幡多	2,385	235	67	2,083	238	69	-302	-13%	1,751
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 39-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
高知県	9,715	122	64	9,323	128	68	-392	-4%	8,892	136
安芸	533	91	53	400	82	51	-133	-25%	254	63
中央	7,675	135	68	7,537	141	73	-138	-2%	7,385	150
高幡	461	69	45	377	66	46	-84	-18%	285	60
幡多	1,046	103	57	1,009	115	63	-37	-4%	968	130
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 39-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
高知県	8,080	76	75	6,698	53	78	-1,382	-17%	5,178	35
安芸	220	23	45	176	17	46	-44	-20%	128	11
中央	6,416	92	84	5,380	63	87	-1,036	-16%	4,240	41
高幡	485	42	56	448	34	61	-37	-8%	407	30
幡多	959	61	66	694	38	65	-265	-28%	403	20
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

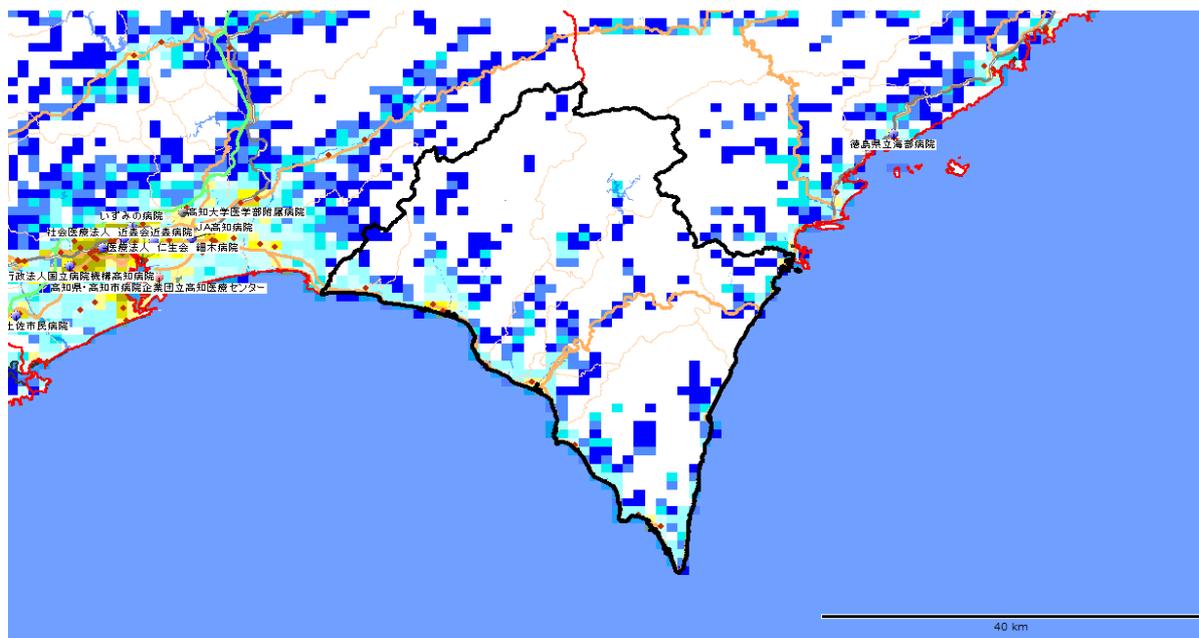
資\_図表 39-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
高知県	382	63	1.120	172	66	1.309	187	56	1.014
安芸	423	73	1.228	186	71	1.396	213	71	1.147
中央	388	64	1.140	175	67	1.335	189	57	1.029
高幡	360	58	1.041	163	63	1.215	177	50	0.945
幡多	343	54	0.997	155	60	1.162	168	45	0.902
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

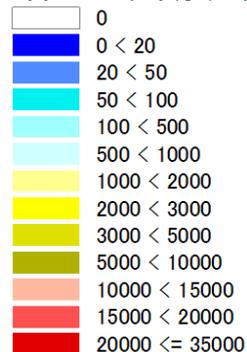
# 39-1. あ げ 安芸医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [室戸市](#) [安芸市](#) [東洋町](#) [奈半利町](#)  
[田野町](#) [安田町](#) [北川村](#) [馬路村](#)  
[芸西村](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (安芸医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 安芸(室戸市)は、総人口約49千人(2015年推計)、面積1129km<sup>2</sup>、人口密度は43人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 安芸の総人口は2025年に41千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に30千人へと減少する(2025年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて11千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には9千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 安芸の一人当たり医療費(国保)は411千円(偏差値72)、介護給付費は289千円(偏差値60)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 安芸の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.82、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は4で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46(病院医師数45、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。安芸には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値75と非常に多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は76で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 安芸の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、960人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が666床(偏差値52)、高齢者住宅等が294床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、950人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム40、軽費ホーム75、グループホーム56、サ高住35である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、124人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+23%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

安芸医療圏の総人口は、2005年58340人が、2015年に48949人と16%減少し、2025年の人口が40549人と予測され、2005年→2025年の間に30%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

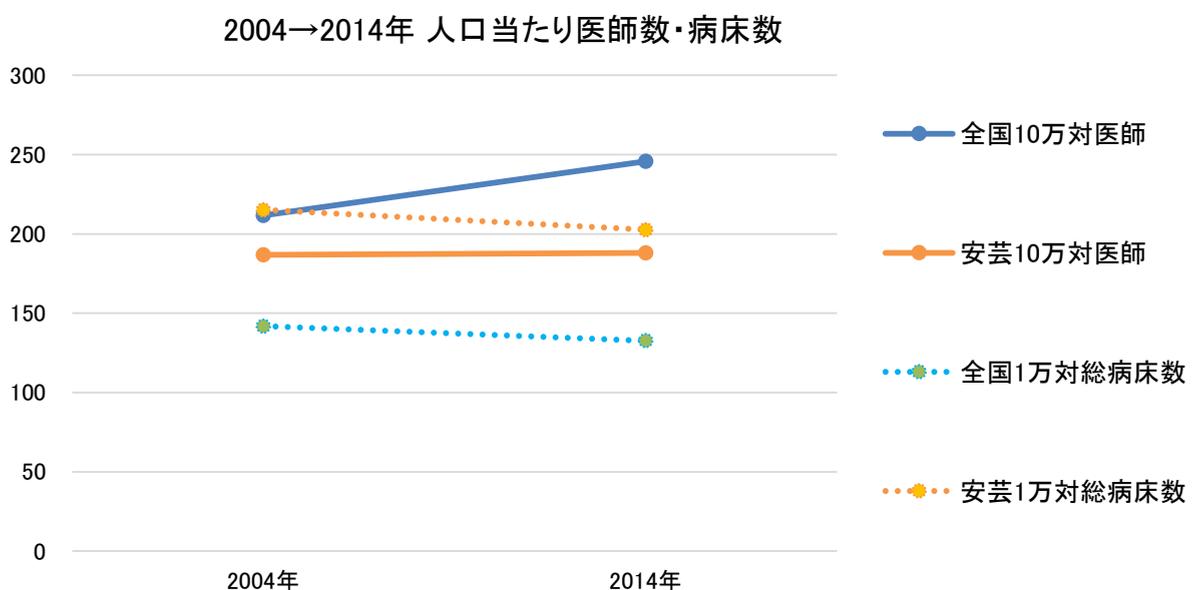
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が8(人口10万人当たり13.7病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2014年に7(人口10万人当たり14.3病院(全国平均6.7)偏差値68)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が41(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に41(人口10万人当たり84診療所(全国平均79)偏差値52)と、増減がなかった。

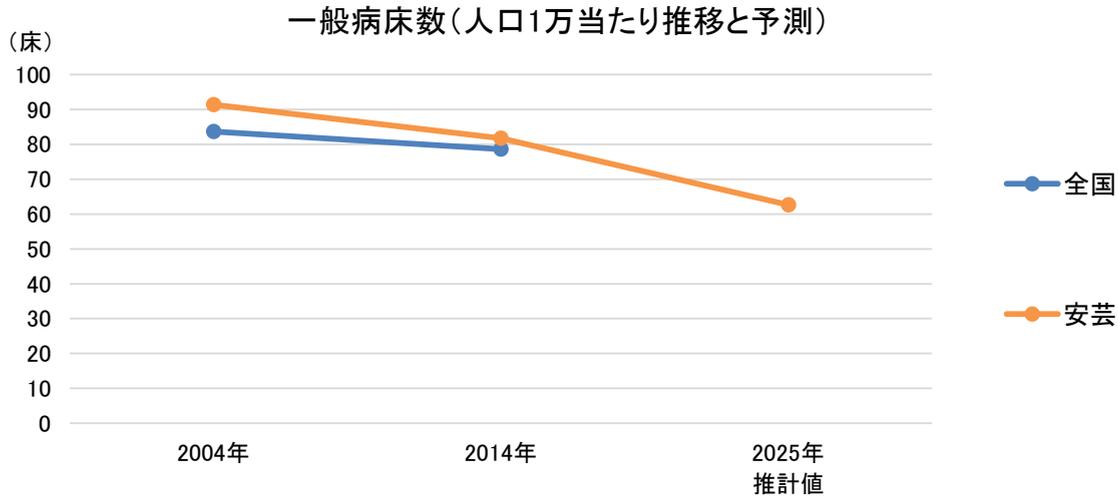
2004年の総病床数が1255床(人口1万人当たり215(全国平均142)偏差値63)であったが、2014年に992床(人口1万人当たり203(全国平均133)偏差値62)と、263床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が109人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に92人(人口10万人当たり188人(全国平均246人)偏差値44)と、17人の減少、率にして16%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



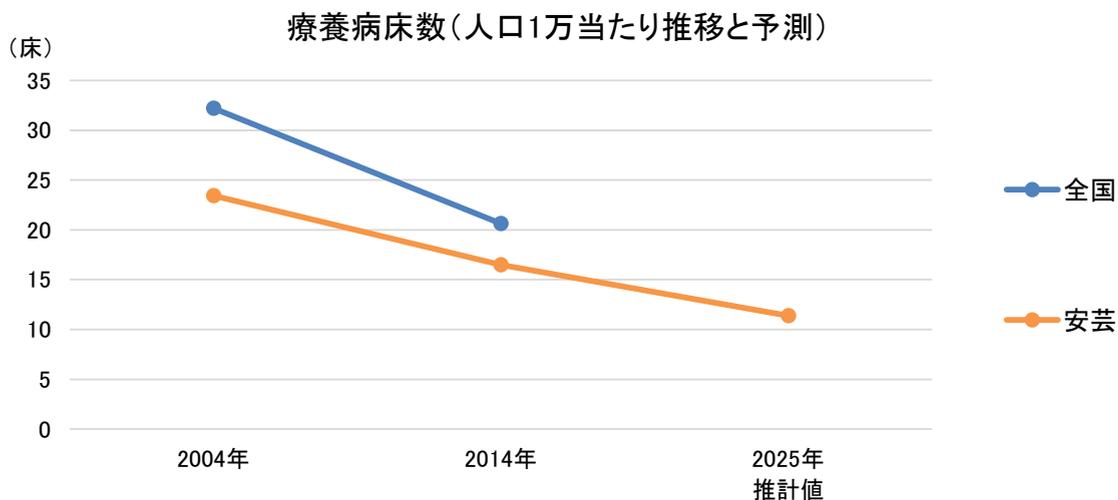
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が533床(人口1万人当たり91(全国平均84)偏差値53)であったが、2014年に400床(人口1万人当たり82(全国平均79)偏差値51)と、133床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には254床(2025年の推計人口1万人当たり63)になることが予想される。



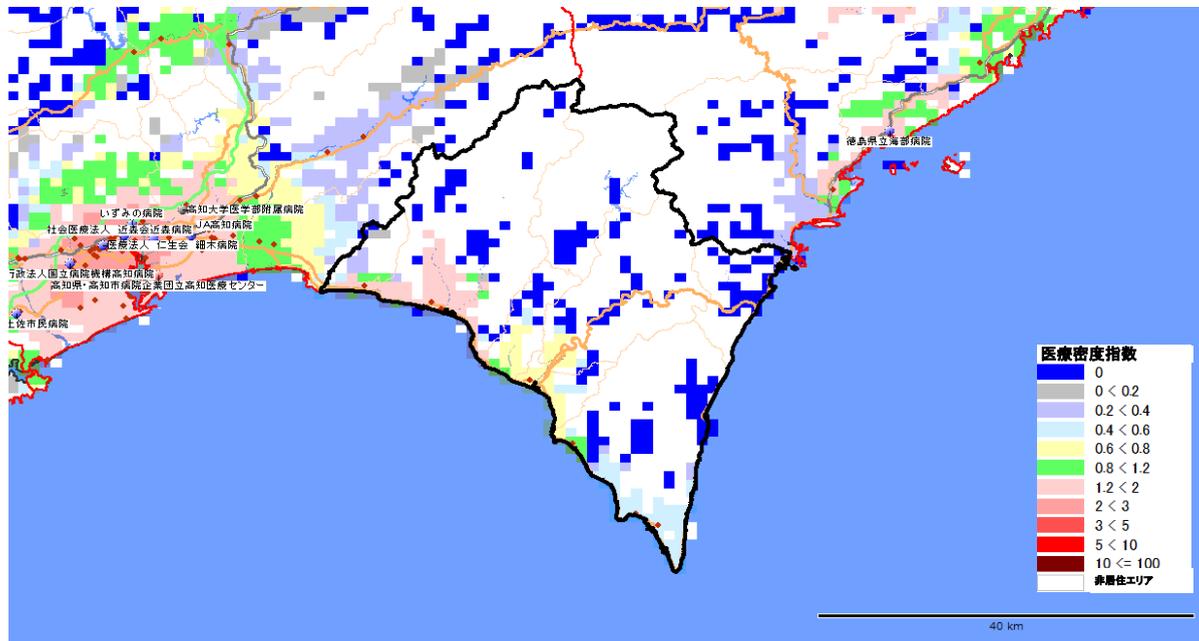
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が220床(75歳以上1000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に176床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値46)と、44床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には128床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。

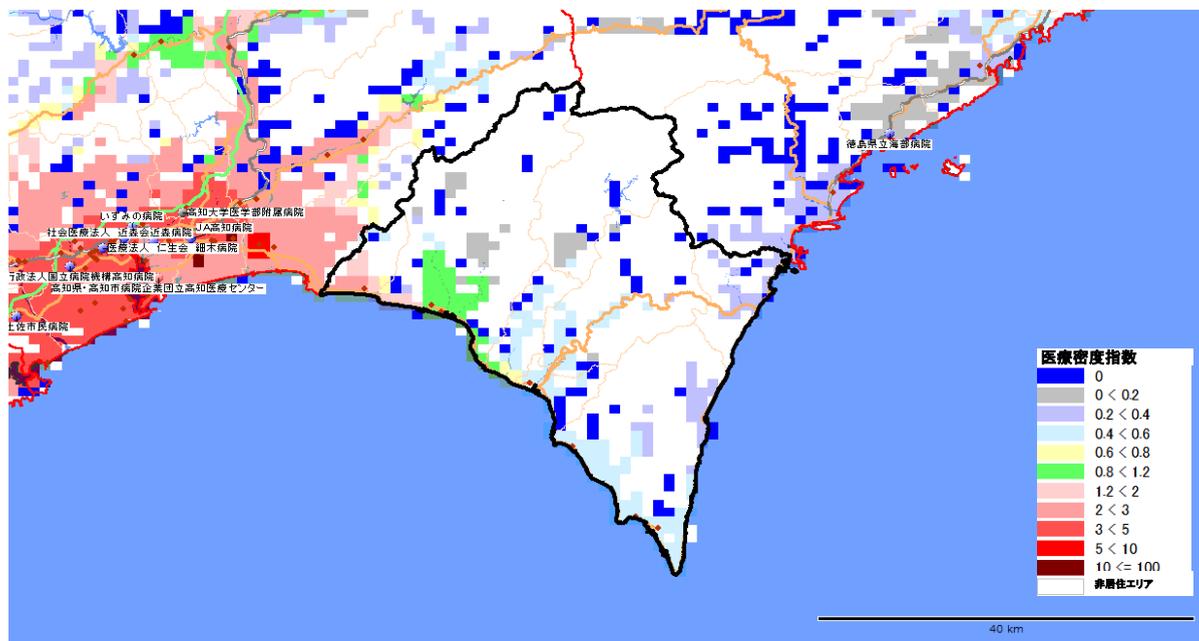


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表39-1-1 急性期医療密度指数マップ



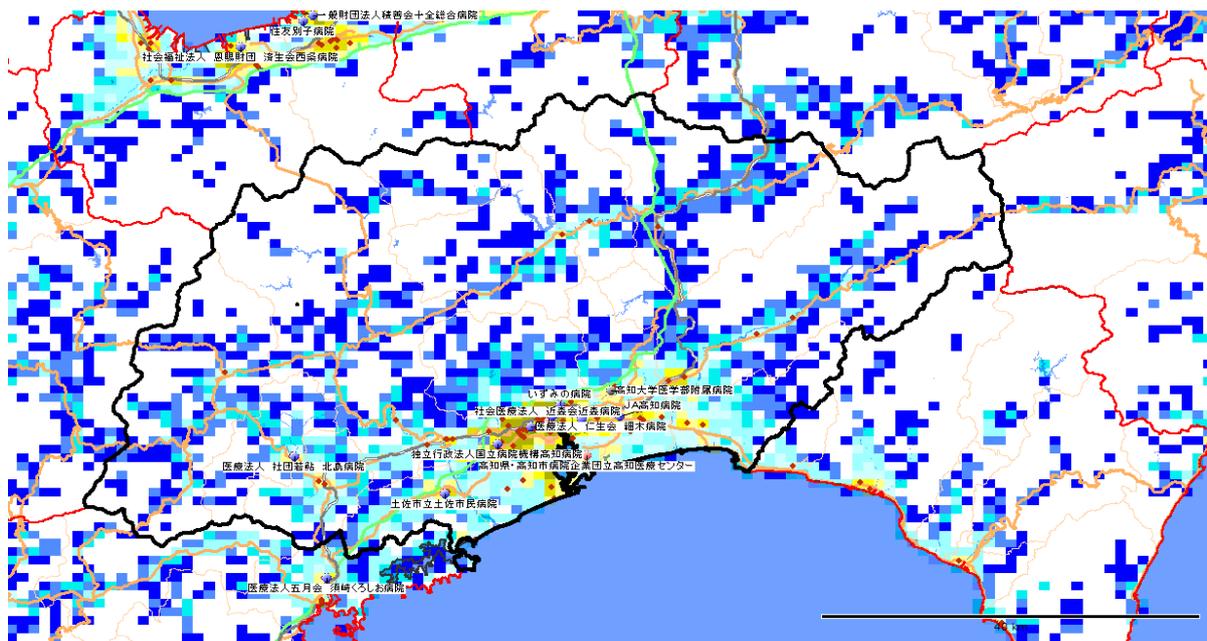
図表39-1-2 慢性期医療密度指数マップ



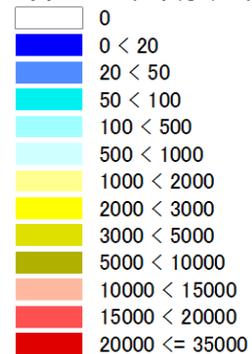
# ちゅうおう 39-2. 中央医療圏

構成市区町村 <sup>10</sup>	<a href="#">高知市</a>	<a href="#">南国市</a>	<a href="#">土佐市</a>	<a href="#">香南市</a>
	<a href="#">香美市</a>	<a href="#">本山町</a>	<a href="#">大豊町</a>	<a href="#">土佐町</a>
	<a href="#">大川村</a>	<a href="#">いの町</a>	<a href="#">仁淀川町</a>	<a href="#">佐川町</a>
	<a href="#">越知町</a>	<a href="#">且高村</a>		

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （中央医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 中央(高知市)は、総人口約536千人(2015年推計)、面積3009km<sup>2</sup>、人口密度は178人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 中央の総人口は2025年に492千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に415千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の85千人が、2025年にかけて104千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には99千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 中央の一人当たり医療費(国保)は378千円(偏差値64)、介護給付費は269千円(偏差値54)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 中央の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.72、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は3.24で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が59(病院医師数65、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は76と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は71で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は62と多い。中央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の高知赤十字病院(Ⅱ群・救命)、高知医療センター(Ⅱ群・救命)、高知大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の国立病院機構高知病院(Ⅲ群)、近森病院(Ⅲ群・救命)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は85と療養病床数は非常に多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値89と非常に多く、回復期病床数は偏差値73と非常に多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 中央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8834人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が5340床(偏差値52)、高齢者住宅等が3494床(偏差値51)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7242人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設88、有料老人ホーム43、軽費ホーム73、グループホーム64、サ高住44である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、958人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-3%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

中央医療圏の総人口は、2005年570302人が、2015年に536285人と6%減少し、2025年の人口が491685人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

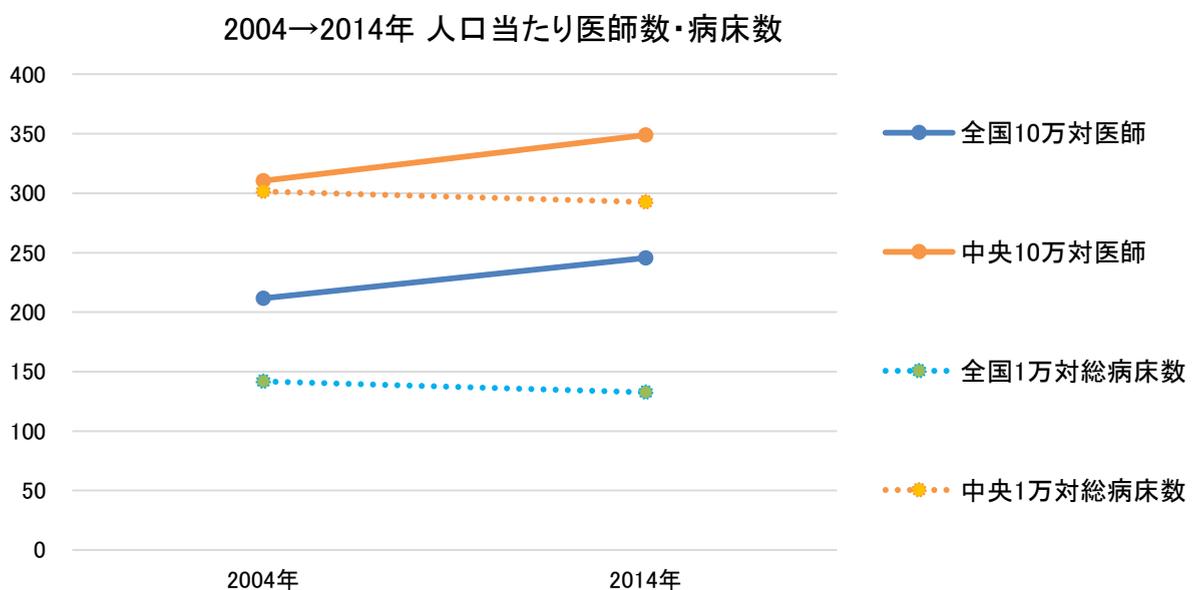
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が106(人口10万人当たり18.6病院(全国平均7.1)偏差値80)であったが、2014年に96(人口10万人当たり17.9病院(全国平均6.7)偏差値77)となり、10年間で10病院が減少した。

2004年の診療所数が437(人口10万人当たり77診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に422(人口10万人当たり79診療所(全国平均79)偏差値50)と、15診療所が減少した。

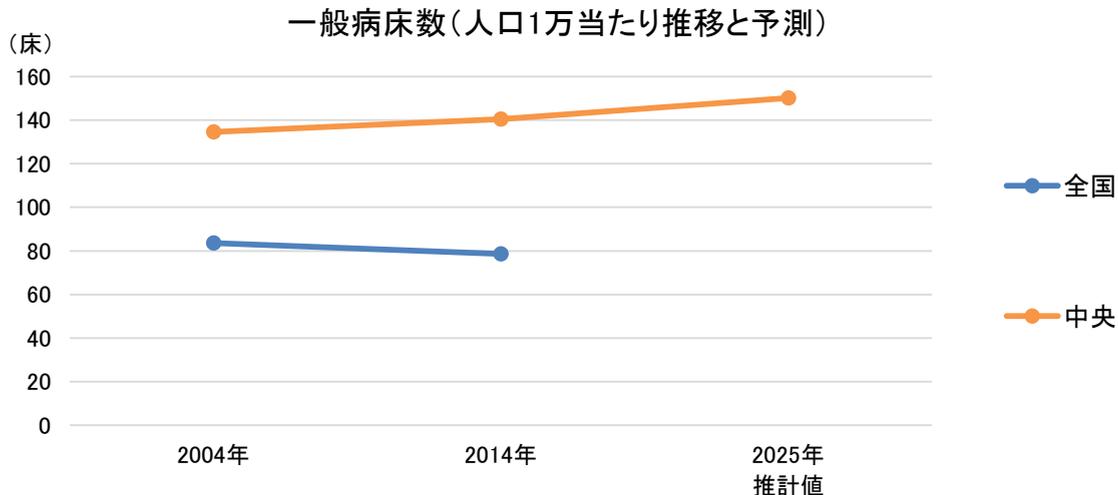
2004年の総病床数が17195床(人口1万人当たり302(全国平均142)偏差値79)であったが、2014年に15697床(人口1万人当たり293(全国平均133)偏差値78)と、1498床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1771人(人口10万人当たり311人(全国平均212人)偏差値62)であったが、2014年に1872人(人口10万人当たり349人(全国平均246人)偏差値61)と、101人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



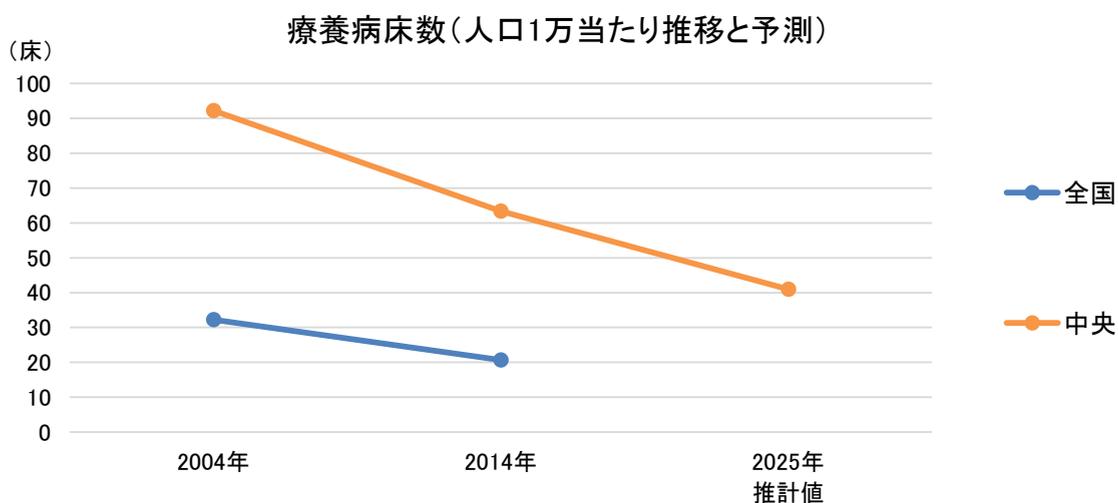
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7675床(人口1万人当たり135(全国平均84)偏差値68)であったが、2014年に7537床(人口1万人当たり141(全国平均79)偏差値73)と、138床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には7385床(2025年の推計人口1万人当たり150)になることが予想される。



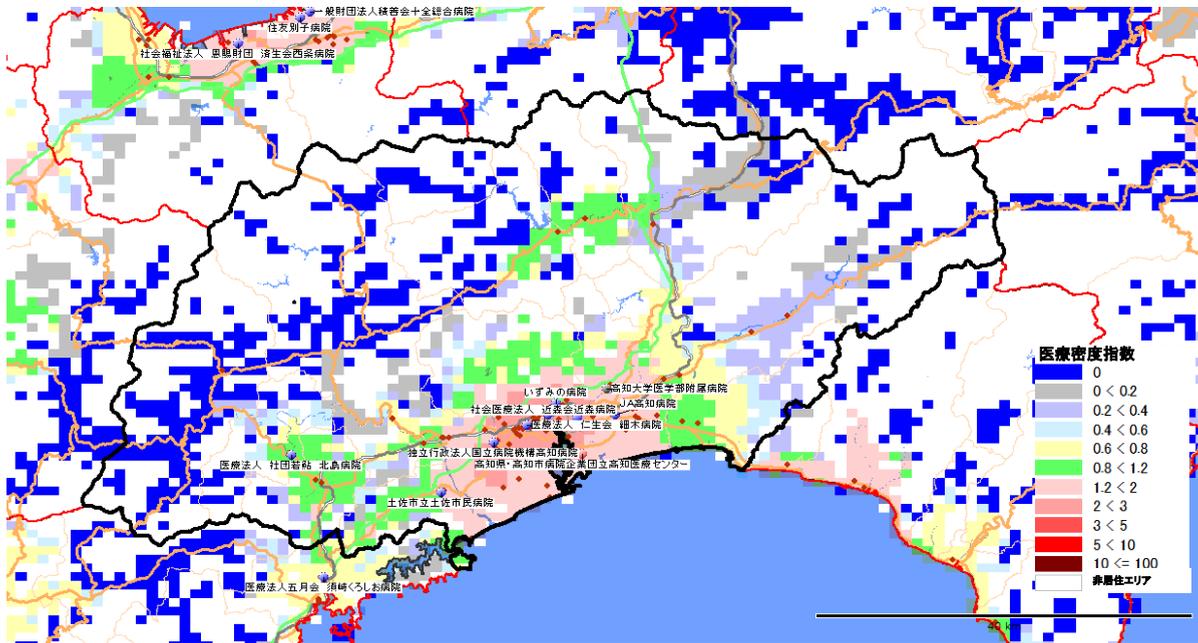
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が6416床(75歳以上1000人当たり92(全国平均32)偏差値84)であったが、2014年に5380床(75歳以上1000人当たり63(全国平均21)偏差値87)と、1036床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4240床(2025年の推計75歳以上1000人当たり41)になることが予想される。

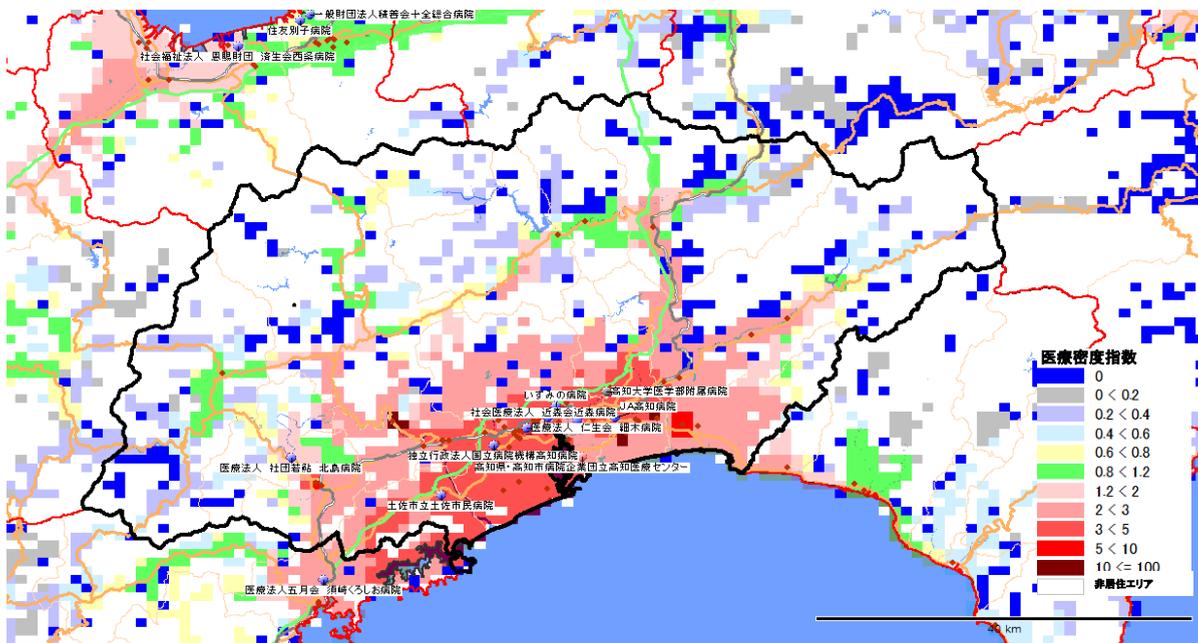


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表39-2-1 急性期医療密度指数マップ



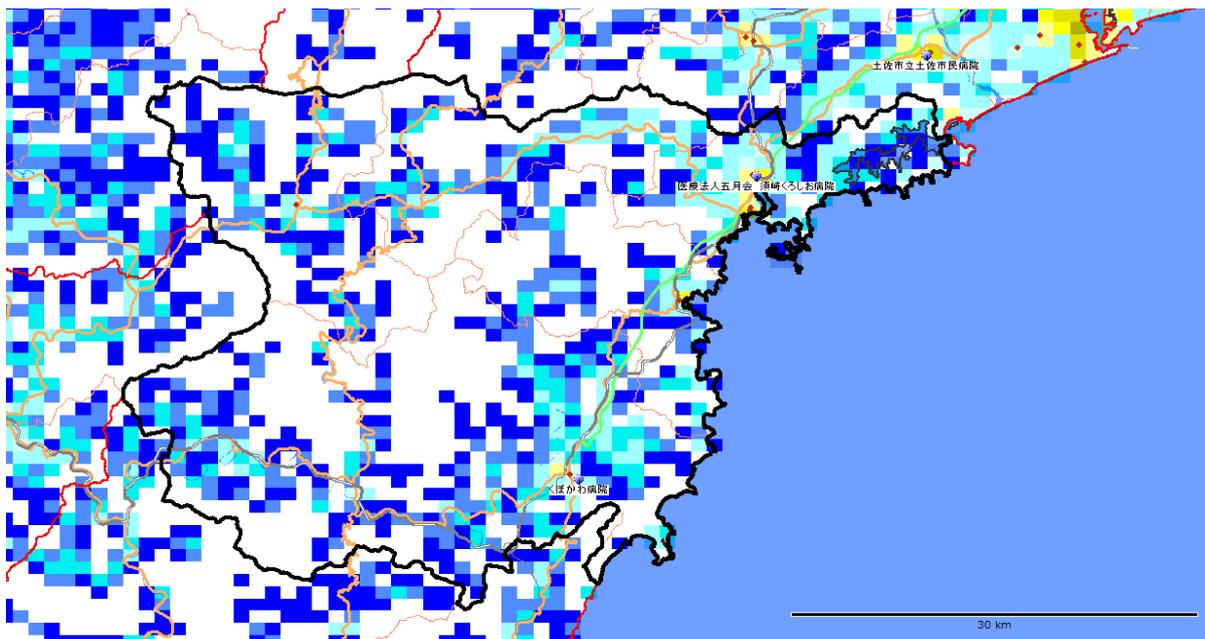
図表39-2-2 慢性期医療密度指数マップ



# 39-3. こうばん 高幡医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [須崎市](#) [中土佐町](#) [梶原町](#) [津野町](#)  
[四万十町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (高幡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 高幡(須崎市)は、総人口約57千人(2015年推計)、面積1405km<sup>2</sup>、人口密度は40人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 高幡の総人口は2025年に48千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に36千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には12千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 高幡の一人当たり医療費(国保)は352千円(偏差値58)、介護給付費は285千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 高幡の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.53、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は3.44で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41(病院医師数44、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。高幡には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は75と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値71と非常に多く、回復期病床数は偏差値71と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 高幡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1212人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が870床(偏差値55)、高齢者住宅等が342床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1076人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設66、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム69、グループホーム61、サ高住35である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値63と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値31と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、108人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+17%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

高幡医療圏の総人口は、2005年66373人が、2015年に56747人と15%減少し、2025年の人口が47794人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

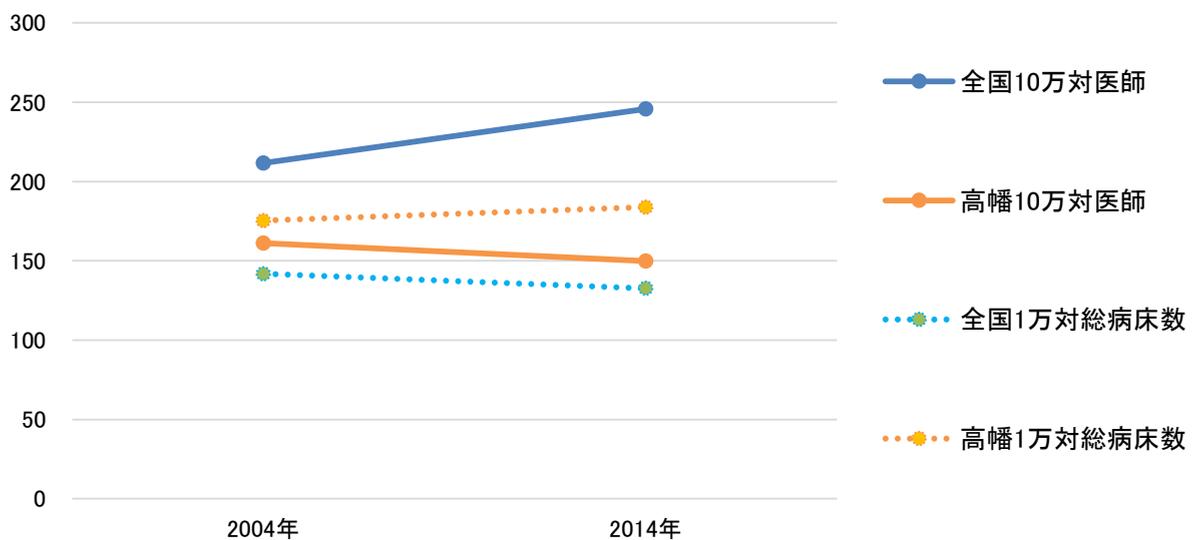
2004年の病院数が8(人口10万人当たり12.1病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2014年に8(人口10万人当たり14.1病院(全国平均6.7)偏差値68)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が51(人口10万人当たり77診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に41(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、10診療所が減少した。

2004年の総病床数が1164床(人口1万人当たり175(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に1043床(人口1万人当たり184(全国平均133)偏差値59)と、121床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

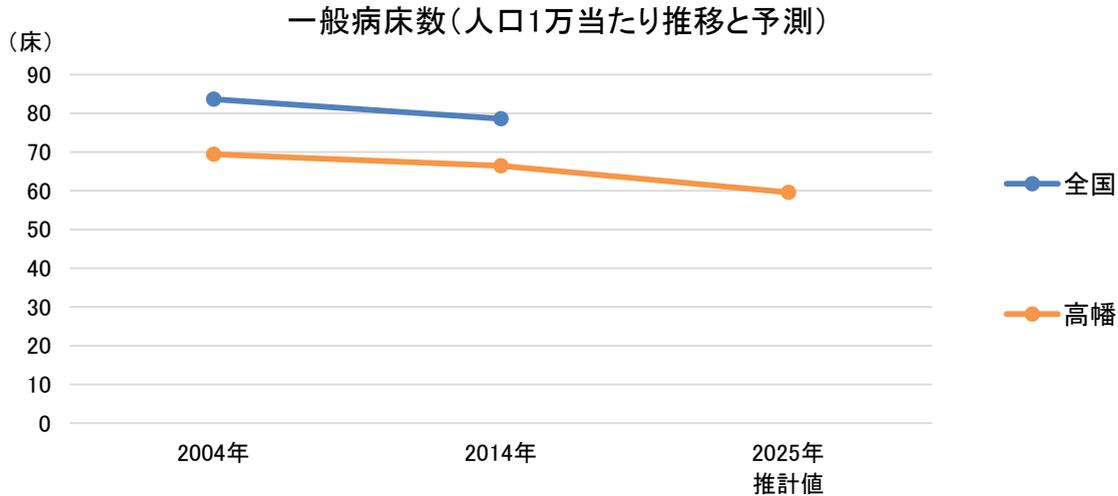
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が107人(人口10万人当たり161人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に85人(人口10万人当たり150人(全国平均246人)偏差値40)と、22人の減少、率にして21%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



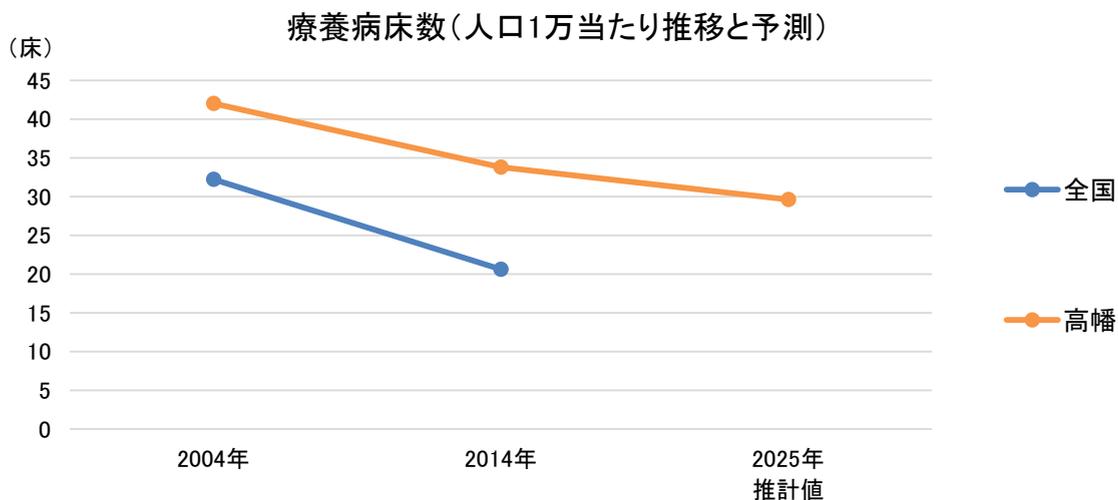
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が461床(人口1万人当たり69(全国平均84)偏差値45)であったが、2014年に377床(人口1万人当たり66(全国平均79)偏差値46)と、84床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には285床(2025年の推計人口1万人当たり60)になることが予想される。



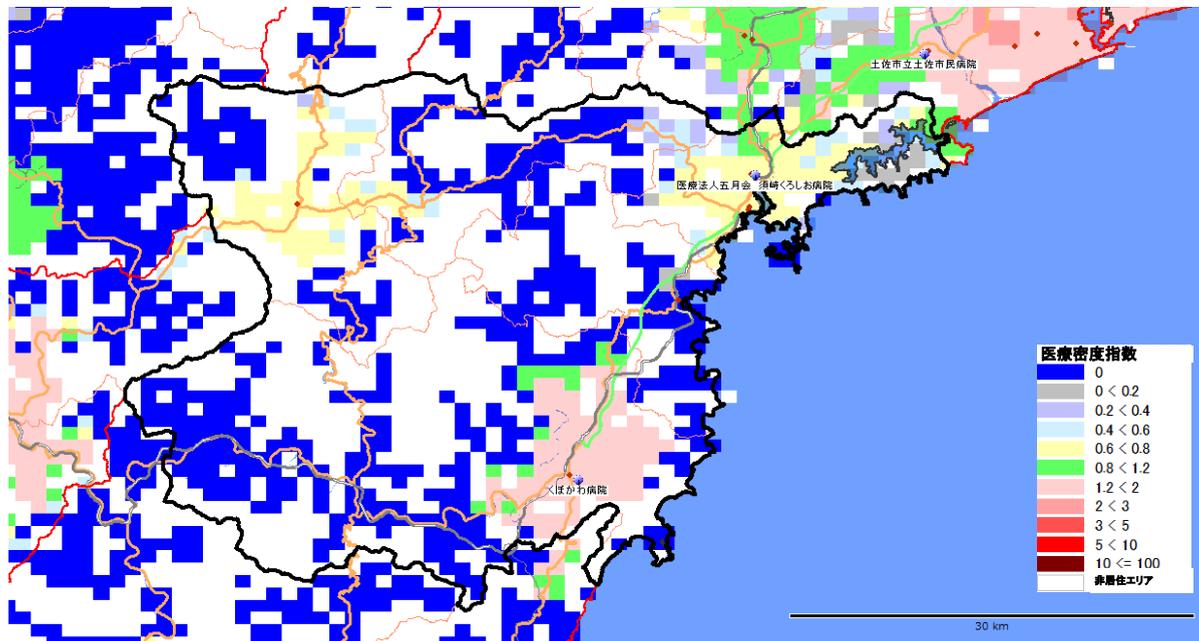
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が485床(75歳以上1000人当たり42(全国平均32)偏差値56)であったが、2014年に448床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値61)と、37床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には407床(2025年の推計75歳以上1000人当たり30)になることが予想される。

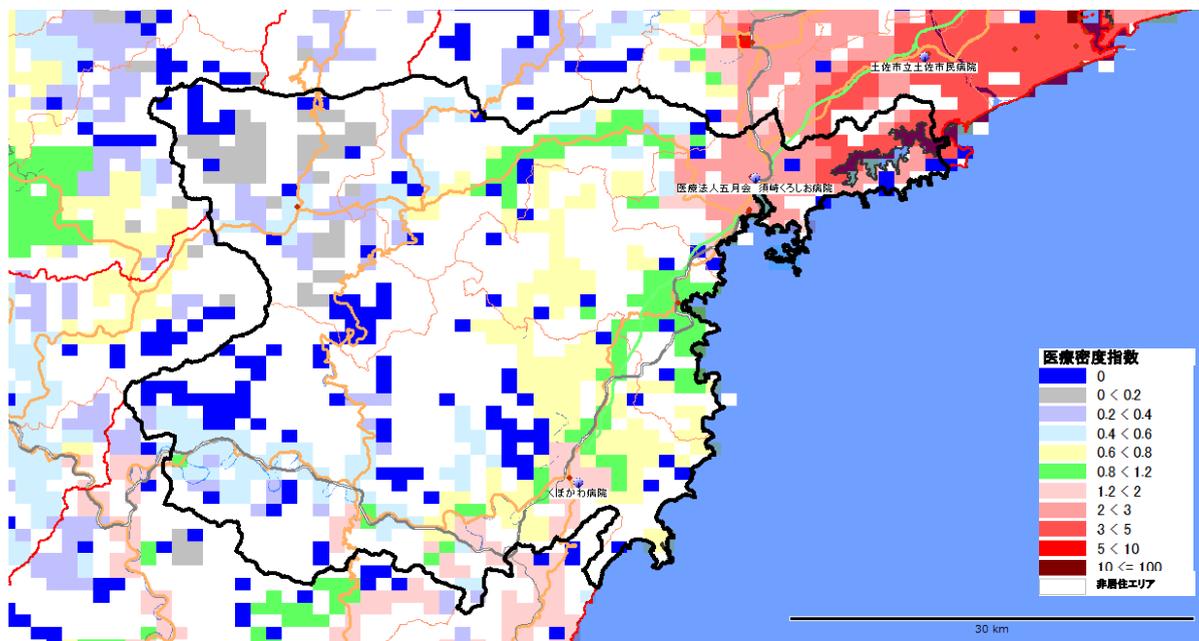


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表39-3-1 急性期医療密度指数マップ



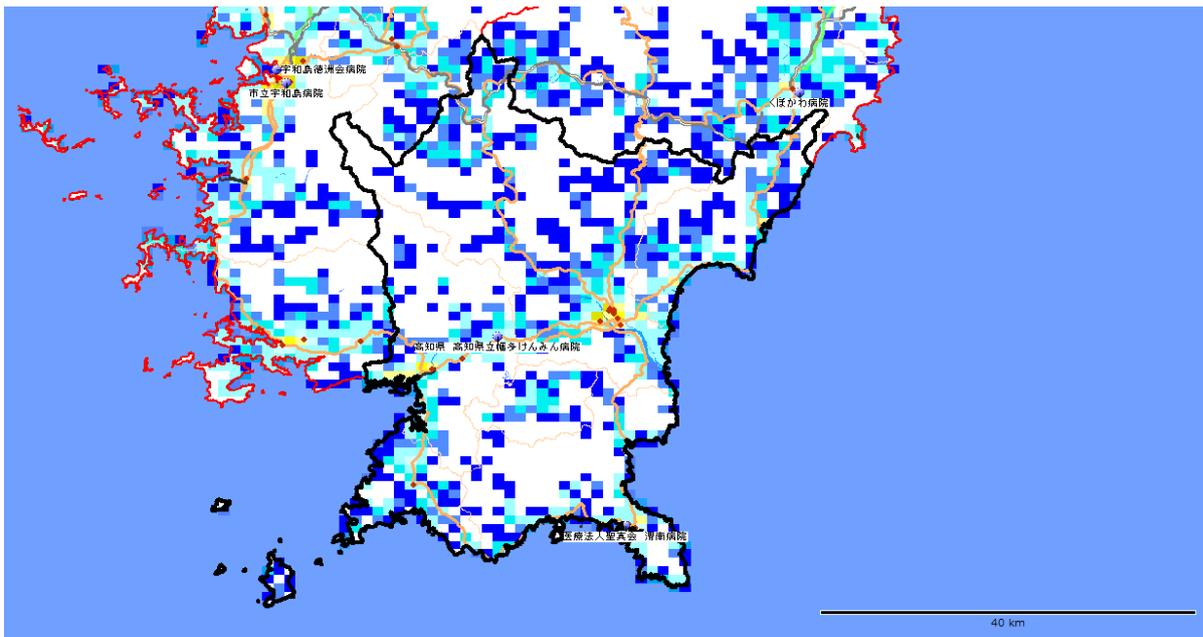
図表39-3-2 慢性期医療密度指数マップ



# 39-4. はた 幡多医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [宿毛市](#) [土佐清水市](#) [四万十市](#) [太月町](#)  
[三原村](#) [黒潮町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （幡多医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 幡多(宿毛市)は、総人口約88千人(2015年推計)、面積1562km<sup>2</sup>、人口密度は56人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 幡多の総人口は2025年に75千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に56千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて20千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には18千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 幡多の一人当たり医療費(国保)は334千円(偏差値54)、介護給付費は274千円(偏差値55)であり、医療費、介護給付費ともにやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 幡多の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.39で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が47(病院医師数53、診療所医師数35)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は63と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。幡多には、年間全身麻酔件数が1000例以上の高知県立幡多けんみん病院(III群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は75と療養病床数は非常に多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値67と非常に多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 幡多の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2129人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1405床(偏差値63)、高齢者住宅等が724床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1757人(75歳以上1000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設69、有料老人ホーム46、軽費ホーム90、グループホーム63、サ高住34である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、229人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+23%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

幡多医療圏の総人口は、2005年101277人が、2015年に87698人と13%減少し、2025年の人口が74713人と予測され、2005年→2025年の間に26%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

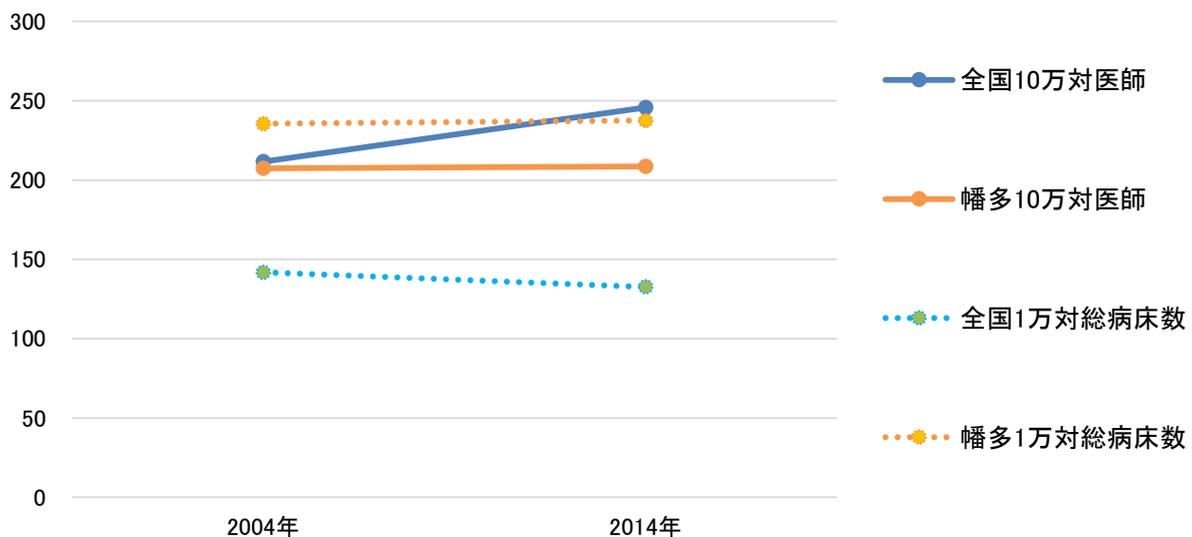
2004年の病院数が20(人口10万人当たり19.7病院(全国平均7.1)偏差値83)であったが、2014年に19(人口10万人当たり21.7病院(全国平均6.7)偏差値86)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が73(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2014年に65(人口10万人当たり74診療所(全国平均79)偏差値47)と、8診療所が減少した。

2004年の総病床数が2385床(人口1万人当たり235(全国平均142)偏差値67)であったが、2014年に2083床(人口1万人当たり238(全国平均133)偏差値69)と、302床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

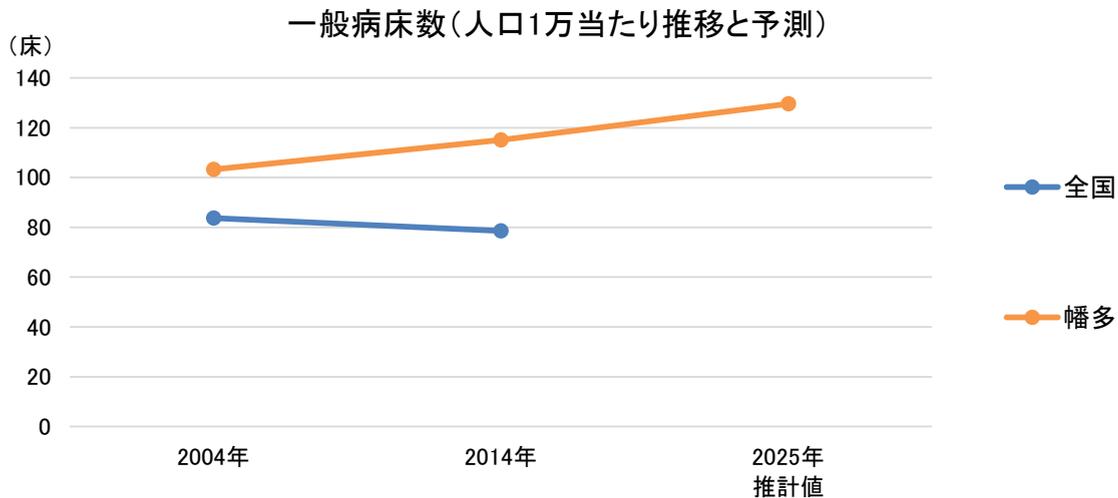
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が210人(人口10万人当たり207人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に183人(人口10万人当たり209人(全国平均246人)偏差値46)と、27人の減少、率にして13%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



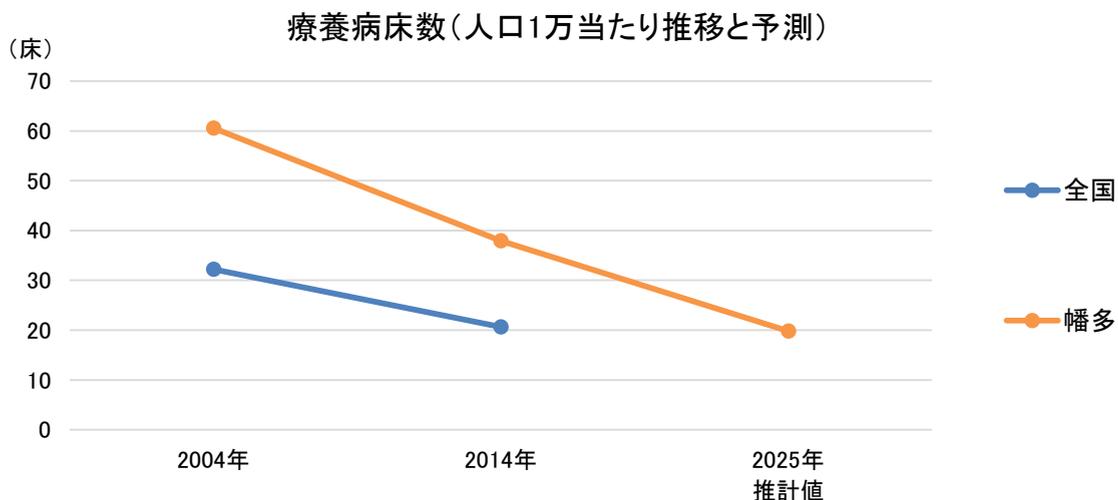
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1046床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に1009床(人口1万人当たり115(全国平均79)偏差値63)と、37床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には968床(2025年の推計人口1万人当たり130)になることが予想される。



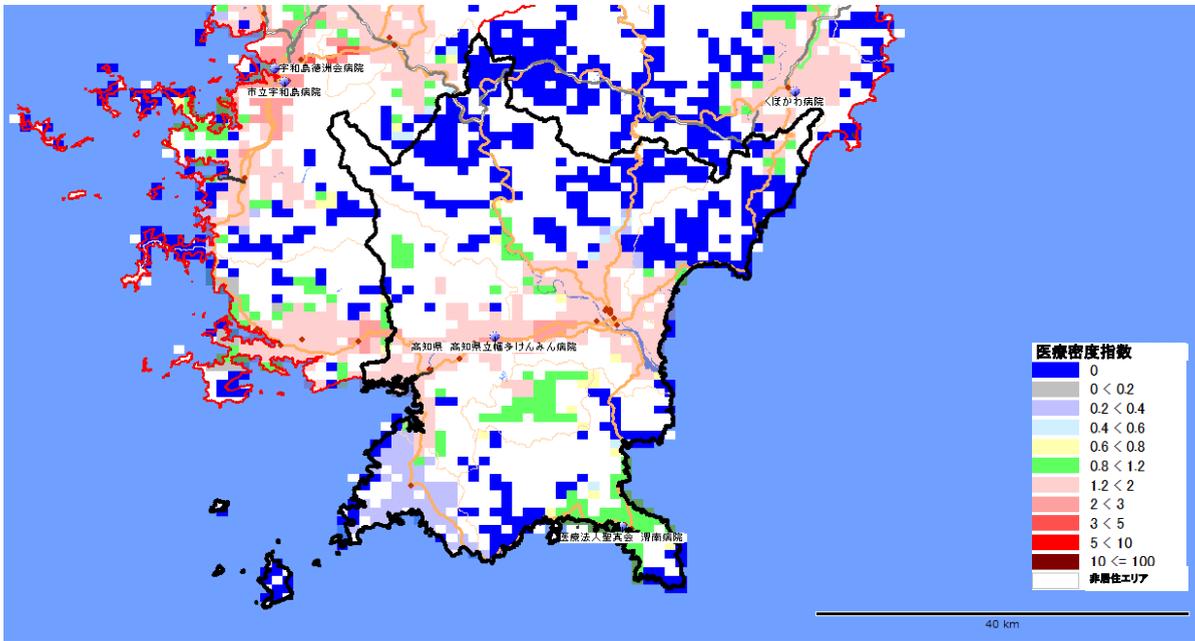
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が959床(75歳以上1000人当たり61(全国平均32)偏差値66)であったが、2014年に694床(75歳以上1000人当たり38(全国平均21)偏差値65)と、265床の減少、率にして28%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には403床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。

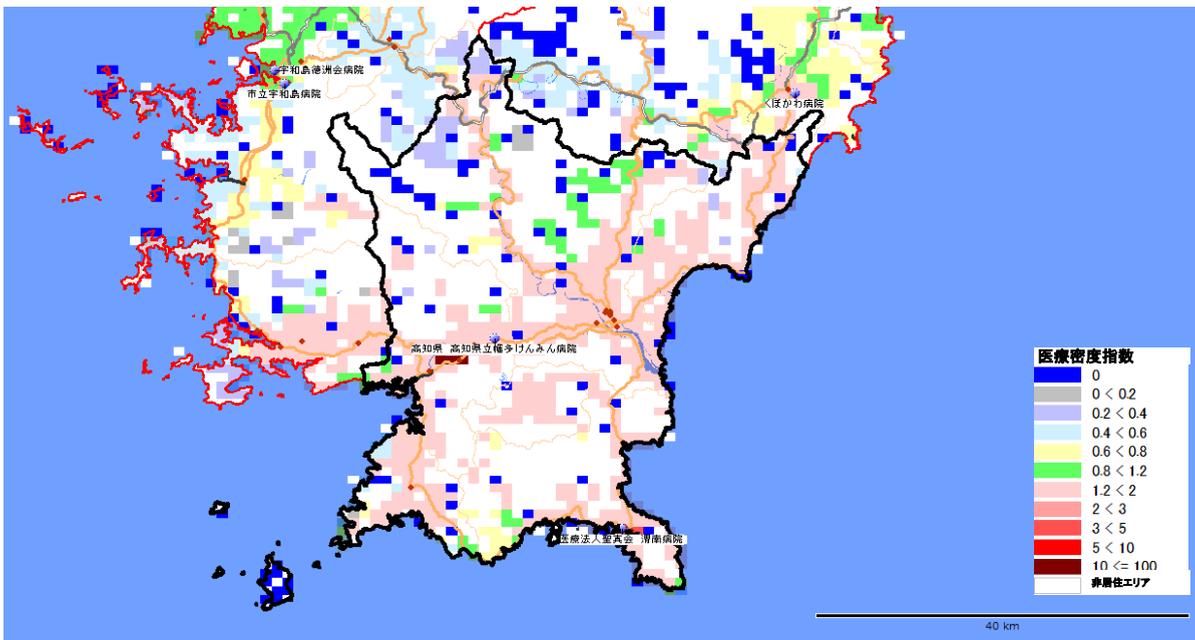


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表39-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-4-2 慢性期医療密度指数マップ



## 39. 高知県（2016年版）

### 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画（1km<sup>2</sup>メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km<sup>2</sup>以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km<sup>2</sup>）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km<sup>2</sup>未満）。白色は非居住地。  
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no. 352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。